

<b>&lt;校訓&gt;</b> 高志共生	<b>大庄中通信</b>	大庄中学校 H27年度 第12号 (H27. 12. 16水)
---------------------------	--------------	---------------------------------------

## あふれる想いがつたわってきた ♪合唱コンクール♪

10月の最後の週に、「～<sup>かなで</sup>奏～ つたえよう あふれる想い 絆にかえて」のスローガンで、文化発表会と合唱コンクールがありました。練習が始まってからずっと、生徒達の文化発表会や合唱への想いが学校中にあふれていた秋の数週間を思い返してみました。

### 二つの伝説を創った 今年の3年生

今年の3年生の合唱コンクールは、この10年間で一番ハイレベルだったと思っています。2年前、今の高校2年生が中3だったときの合唱コンクールもハイレベルでしたが、今年はそれをさらに上回るすごいレベルで、どのクラスが中高合同音楽会（アルカイック）に選ばれても通用するだろうなと思いました。

課題曲の「春に」。4クラスとも、演奏前の微動だにしない完璧な「気をつけ」から合唱の姿勢に移り、リズムカルな前奏に続いて「この気持ちは何だろう…」で歌が始まります。「よろこびだ…、いらだちだ…、あこがれだ…」といったフレーズに象徴される思春期の心の葛藤を表現するのはとてもむづかしかったはずですが、完成するのが大変な曲のはずなのに、どのクラスも丁寧に仕上げている、思わず涙がこぼれてきそうなくらい気持ちの込められた歌声を聞かせてくれました。「大庄の今年の3年生は、こんなすごいことができる力を持っている…」と誇らしい気持ちになりましたし、大庄の合唱もここまでレベルアップしたのだな、とも思いました。今年の3年生は、体育大会の「大庄ソーラン」に続いて、二つの「伝説」を創った学年です。

もう一つ感心したのは、これまでの先輩達がなかなかできなかった、地声ではない発声をどのクラスもできていたことです。息をしっかりと吸って口を開けて歌うことができていました。ともすれば、男子は大きな声を出そうとしすぎて、校歌を歌う時のような声になりがちですが、今年の3年生は、良くひびく男性らしい声が出ていました。女子は、音程の高いところが叫び声になったりかすれ声になったりすることが多いのですが、背筋がゾクゾクするようなきれいな声が聞こえてきました。人数が少ないことを全く感じさせない声でした。男女とも、誰かの声だけがよく聞こえてくるということのない声のそろえ方もできていました。全員が気持ちをそろえて、よく声を出していたからでしょう。「これこそ合唱」という素敵な歌声でした。

もう一つ、歌声だけでなく、歌っているときの自然な表情と笑顔も素晴らしいなと思っていました。練習の時からそうでした。朝から放課後まで、一日中きれいな歌声が聞こえてきて、生徒達の笑顔があふれる素敵な秋の数週間でした。



## 合唱での団結力が本物かどうかは3ヶ月後に現れる

「その団結力が本物だったかどうかという合唱コンクールの本当の成果は、3か月後に現れる」という文章を読んだことがあります。「心を通わせる」という大切なことを忘れて、「勝つこと」だけを目標にしたクラスは、本番のコンクール終了と同時に心が離れてしまいがちですが、結果よりも心を通わせることを目標にして合唱に取り組んだクラスは、そこから更に素晴らしい絆を結んでいき、それが3ヶ月後に現れる、ということです。大庄の3年生は、アルカイック出場を目指して必死に練習に取り組んでいましたが、どのクラスも、結果だけを求めるのではなく、心を通わせ、人の心を育てる、という合唱を通じた本物の団結力をを見せてくれたと思っています。

### 中高合同音楽会での合唱を聞いて…

1週間後に、学校代表として中高合同音楽会に出演した3年2組。アルカイックでもとても上手に歌っていました。最優秀賞の学校の先生も「大庄、うまかったですね」って誉めてくださいました。私の素人の耳ですが、今年の大庄中も何年か前なら優秀賞に入って全く不思議でない合唱に聞こえましたが、今年は優秀賞のレベルの学校が10校以上あるように思えました。アルカイックのコンクールは、最優秀賞1校、優秀賞は3校という規定がありますので、今年の審査は、4校にしぼるのがとても大変だったそうです。大庄中も、発声のレベルが上がって、選曲もかなり難しい曲に挑戦しているのですが、それでもなかなかアルカイックでの賞には届かないくらい今年全体のレベルが上がっていたのです。目標が高ければ高いほど、「やってみよう」という意気込みで、来年から合唱に取り組んでくれることを期待しています。

### 2年生と1年生の合唱も素晴らしかった

1年生と2年生の合唱も、来年のコンクールを期待させてくれる歌声でした。1・2年のときは、どのクラスにも声変わりが終わってなくて声が出にくい人がいますし、声をそろえるのもむづかしいですし、3年生のような合唱にはなりません。3年生のレベルにはなかなか届きません。それでも、1・2年としては、レベルの高い合唱を聞かせてくれました。交流行事で来てくれた啓明の1・2年生の合唱もなかなか高いレベルでしたから、統合した来年度からの合唱がとても楽しみです。

## 文化発表会（舞台&展示）

合唱コンクールの2日後には、文化発表会がありました。

午前中は、バラエティに富んだプログラムの舞台発表を鑑賞しました。今年、特に素晴らしいと感じたのは、それぞれの演目の内容やレベルの高さはもちろんですが、出演者と会場が一体となったノリの良さや観客としてのケジメのつけ方を見せてくれたことでした。「静かにしてください」とか「話をやめてください」というアナウンスをする必要のない、観客としてのマナーができていたことに感心しました。1・2年生は、もっとはじめてみたいのに自分達が前に出て行っているのかな…みたいな遠慮があったように感じましたが、今年のようなケジメで切り替えができるのなら、いいのではないかなと思います。

午後の展示では、学校の授業や部活動、夏休みの課題の発表など限られた時間での作品ばかりですが、レベルの高い作品がたくさんあって、もっとゆっくり時間をかけて見てみたい気がしました。

合唱・舞台・展示、そのどれも、大庄中の生徒の輝く才能と絆を示してくれた文化発表会でした。

(文責:校長 福井 隆夫)